

みなみ風

地域情報版

第4715号

●北海道新聞函館支社●

情報提供は ☎ 0138-32-5193
 フリーFAX 0120-324-072
 掲載写真の希望は ☎ 0138-32-5118
 有料広告は ☎ 0138-32-5124

患者さん 和む春の彩り

函館おしま病院 ホスピス病棟

ボランティアらと花見

函館おしま病院(福徳雅章院長)のホスピス病棟の患者たちが8日、遺愛学院(杉並町)で花見を行った。医療スタッフやボランティアらのサポートを受けながら、サクラやツツジなど色とりどりの花々に目を細め

た。春の恒例行事で、ホスピス病棟の患者7人とその家族、医療スタッフら20人余りが参加。患者たちは車いすやストレッチャーに乗り、敷地内を移動しながら、春の雰囲気を楽しんだ。同

病院ボランティア「ミント」の南條美紀子さん(59)も、ストレッチャーを支えたり、患者に話しかけたりしていた。2005年のミント発足時から活動する南條さんは、実母が一般病棟で闘病

生活を送ったことをきっかけにホスピスに興味を持ち、ボランティアを始めた。「自分の得意分野を生かして、都合の良い時間でできる。現在は人数が足りないので、たくさんのお力を集めて大きな力にした

い」と呼びかける。同病院はボランティアの希望者に6月19、26日に講習会を開く。講習会は両日とも午後2時30分から同病院で開かれ、ホスピスケアの理念やミントの活動などについて福徳院長らが講義

する。希望者は今月31日までに所定の申込用紙に必要事項を記入し、同病院に申し込む。問い合わせは同病院の大野絵看護師長 ☎ 0138・56・2308へ。(野長瀬郁実)



ボランティアらと花見を楽しむ患者たち